

第 1 回 厚生文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 7 年 5 月 1 3 日	会 場	第 2 委員会室	案 件	正副委員長の互選ほか
出 席 委 員	東千春、高橋伸典、高野美枝子、倉澤宏、佐藤靖、今村芳彦、谷聡				
委員外議員					
欠 席 委 員					

報告事項

【正副委員長互選】

1. 委員長選出

- ・年長委員である高野委員が臨時委員長として高橋伸典委員を指名、当選人と認めた

2. 副委員長選出

- ・委員長の指名により今村芳彦委員を指名、当選人と認めた

【その他】

- ・閉会中継続審査(調査)を申し出る旨を承認した。
- ・次回委員会の開催日程について調整を行う旨を確認し閉会とした。

報告者 厚生文教常任委員会 副委員長 今村 芳彦

第 2 回 厚生文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 7 年 6 月 2 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、今村芳彦、東千春、高野美枝子、倉澤宏、佐藤靖、谷聡				
委員外議員					
欠席委員					

調査・報告事項

【市立総合病院事務部】

1. 令和 6 年度病院事業決算見込みについて
市立病院事業で 9.8 億円の純損失である見込み
2. デジタル戦略室の設置について
情報管理センターを増員する形で同室を設置し、院内スマホの運用、AI の活用等 DX の推進に努めたい
3. 医療の質向上に向けた取組みについて
院内スマホの運用、セル看護方式の導入を行い、業務の効率化、負担軽減から働きやすい環境の構築につなげたい
4. 令和 6 年度患者満足度調査結果報告書について
WEB 解答数が少ないものの、多くの解答を得た。今後は委託先とも協議し解答数の増加に努めたい。また、得た調査結果は全職員で共有し、経営企画室の方でも活用したい。
5. 名寄市病院事業に係る債権(診療費)の放棄について
28 件、81 万 4,539 円を放棄する。
6. 名寄東病院 新病院基本構想・基本計画(調査報告)について
医療資源の共用に関する制度上の制約、必要な施設面積を確保するために新たな候補地の選定が必要であること、事業費の高騰、以上の点から吉田病院北側駐車場への移転建て替えは断念せざるを得ないという判断に至った

<質疑>

問 基本設計、基本構想にかかる予算として 829 万円が計上されたと考えているが、執行状況は。また、今後の新たな計画の選定に向けて活用されるのか。

答 780 万円程度が積算されており、必要とされる施設の規模や役割といった部分は今後も活かされる。事業スケジュールが後ろ倒しになることもふまえ、必要な予算措置を講じながら現在地での敷地と建物を中心に考える方針。

【名寄市立大学】

1. 名寄市立大学の現況について

大学の教職員数、学生の在籍状況、入学・志願状況、新入生の出身高校所在自治体、国家試験の状況等報告を受けた

教員数 81名

事務職員 46名

学生数 777名

入学者数 栄養学科 45名（倍率1.5）

看護学科 58名（倍率2.5）

社会福祉学科 59名（倍率1.0）

社会保育学科 39名（倍率1.0）

保健福祉学科 201名（倍率1.5）

出身校自治体 北海道 76.6%

岩手県 8.5%

青森県 4.0%（東北地方が多い）

卒業生の進路 進学 11名

就職 180名

国家試験合格者数 管理栄養士 35名（合格率92.1%）

看護師 51名（100%）

保健師 17名（100%）

社会福祉士 40名（81.6%）

精神保健福祉士 15名（93.8%）

<質疑>

問 旭川市からの入学が多いと感じる。分析は。

答 年度毎に傾向があり分析する。入学増に向け広報活動したい

問 卒業後の進路で主な進学先はどこになるのか。また、道北域では保育士、保健師が不足している状況だが貢献しているのか。

答 保健師、助産師資格の取得を目指し進学した。就職先として道北を選ぶ生徒もおり貢献していると考えている。

2. コミュニティケア教育研究センター

令和6年度活動実績報告及び令和7年度活動計画について報告を受けた。

市民に開かれたセミナーの開催や地域課題の研究推進、なよろ子ども支援プロジェクトの概要、地域交流学生ボランティア支援、情報発信の状況、関係機関との連携や産官学民連携によるレシピ開発事業、国内・国外交流事業の説明があった。

<質疑>

問 活動計画の中で国際交流があるが具体的にどの地域と交流するのか。また、時期と規模など想定はあるのか

答 交流推進課と連携しているネパールの訪問団に栄養・看護の講演を頂きたいと相談があり、協力したい。ケア研の目的に資する活動を議論したい。

3. 名寄市立大学の授業料等徴収条例の一部改正について

授業料の納期限の延長、減免及び徴収猶予の範囲の拡充、還付が出来る範囲の拡充について改正したい旨の報告があり、質疑は本会議で行うこととした。

【健康福祉部】

1. 第2回定例会提案予定の議案について

定額減税補填給付金に関する事務人件費、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について提案の旨であり質疑は議場で行うとした。

2. 定額減税補填給付金(不足額給付)について

令和6年度税制改革による定額減税分が減税しきれないと見込まれる方を対象に給付した当初調整給付支給額に不足が生じる方等に対し不足額を給付する。

3. 低所得者支援給付について

物価高騰が長期化するなかで家計への影響が大きい低所得者世帯に対し給付金を支給した。

4. 名寄市「障がい」ひらがな表記取扱指針について

健康福祉部で試行的に実施してきた「障がい」表記が庁内全体で取り組まれている状況であり、令和7年4月1日から本格的に実施する旨報告があった。

5. 名寄市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について

国・道の動向を踏まえ、本市の行動計画も令和8年3月末までに改定することとしている。感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を保護することと、市民生活及び社会経済活動に及ぼす影響が最小となることを目的とし進めると報告があった。

6. パブリック・コメント手続の実施結果について

第3期名寄市子ども・子育て支援事業計画に対し、意見なしであり素案に基づき制定することとなった旨の報告があった。

7. 地域支援事業に係る消費税の取扱いについて

介護保険法に基づいた地域支援事業として実施している業務委託事業は消費税課税対象事業として委託契約していたが、上川総合振興局からの通知により一部が消費税非課税対象である

ことが判明したことを受け、本市の対応について報告があった。

当該3事業で206万1,594円であり、当該分の交付金返還手続きと再確定に伴う実施報告の修正、年度内に返還手続きを完了、事業者からは年度内の返納を目指している。

8. JICA 草の根技術協力事業「ネパール国高齢化社会に向けた高齢者ケア体制の整備」事業について

採択からの経緯の説明後、直近ではネパールの視察団を受け入れた件、今後も日本で学んだ技術を自国で実施できるようフォローアップする旨の説明があった。

<質疑>

問 今後の交流をどのように展開させるのか考えは。

答 今回訪れた皆さんがトレーナーとして広めるようフォローアップしたい。究極の目標としては名寄市と現地とで関係性を構築し、人材環流が起こることである。

9. 当面の行事等の予定について

戦没者追悼式の日時、令和7年度民生委員児童委員の一斉改選についての動き、なよろ健康まつり、予防接種、乳児等通園支援制度、名寄市立大学社会保育学科の学生アルバイト、高齢化率、介護保険事業状況、介護予防講演会、医療介護連携情報共有ICT事業について報告があった。

<質疑>

問 イベントが地域の祭事と同じ日程だが設定理由は

答 開催施設との調整で決定した。

問 学生アルバイトの料金は市の助成があるのか。また受け入れる園とどのようなやりとりがあったのか

答 料金は報酬として支払う。大学とも連携し、現場で子どもたちに触れ合ってもらうことが目的の一つである。

【市民部】

1. 運転免許自主返納支援事業、自転車用ヘルメット購入支援事業、名寄市合同墓について

自主返納令和6年度実績で133人の申請があり、昨年比較100名増加しており事業成果と考える。

ヘルメット購入支援は2週間で38人であり、ヨロカポイント付与で興味関心を得ていると考える。特に児童・生徒への普及促進に努める。

合同墓は供用開始から4年間で201件、455体の納骨

2. 令和6年度国民健康保険特別会計決算見込みについて

形式収支として歳入25億2,786万円、支出25億2,091万円であり差引き694万円が次年度繰

越しとなる。基金の取崩し分はなく、積立の予定もない旨の説明があった。

3. 医療費適正化について、マイナンバーカードの交付状況について、戸籍等の記載事項への「氏名の振り仮名」の追加について

ジェネリック薬品の使用率 R7.3 末 89.3%。そのほか特定健診の実施、各種検診・ドックの助成等を行う。

マイナンバーカードの交付率は R7.4 末 90.4%

令和 7 年 5 月 26 日施行から、戸籍に記載するフリガナ振り仮名の通知を行う。

4. 令和 9 年 4 月から変わるごみの処理・分別区分などに関する説明会の開催

名寄地区衛生施設事務組合で建設している新しいごみ処理施設の稼働にともない、ごみ処理や分別区分などが大きく変わることから説明会を開催する旨報告があった。

5. 「おいくら」によるリユースの推進

本年 3 月 21 日、名寄市とマーケットエンタープライズがリユース活動の促進に関する連携協定を締結。不要品などの情報を一度に複数の買取り店へ無料で査定依頼できることで、リユースによるごみの減量化に取り組む。

6. エコひまちゃん食品ロスダイアリー事業の開始

食品ロスを軽減させるためごみとして捨てる食品の量を日記形式で記録し、取組者へ行政ポイントを付与する。

7. 次期ごみ処理施設について

稼働に向け工事が進んでおり、若干の遅れはあるもののおおむね順調に進んでいる。

名称募集を行い、環境や地域に優しく安全安心で親しまれる施設となるよう案内している。

8. 令和 6 年度市税収納調べ、コンビニ・スマホ決済による税目別利用実績

現年課税分の収入額は 30 億 1,857 万 9,000 円、総収納件数に占めるコンビニ・スマホ決済の件数はおよそ 2 割

9. フォークリフトに係る軽自動車税の課税誤りについて

○フォークリフト所有者から小型特殊自動車の申告が上がった。確認作業を進めるうち賦課の根拠となる小型特殊自動車の構造要件に疑義が生じた。このため、道路運送車両法をはじめ関係法令を調査したところ、小型特殊車両として要件に該当しないため申請を却下した。

○この件を受け、軽自動車税として課税している全フォークリフトを調査したところ、最高速度に関する規定の確認が不足しているにもかかわらず、小型特殊自動車として認定し軽自動車税を課税している車両が多数存在することが判明。

○本来なら償却資産(固定資産税)の申告対象となる。

- そのため、該当するフォークリフトの所有者に対し再確認を行ったところ、128台、286万4,100円分が課税錯誤と判明した。
 - 該当所有者には地方税法の規定により令和3年から令和7年度分の賦課更正と誤って納めた4年間分を返還する。
 - 当該車両は軽自動車登録を取消し、償却資産として申請をお願いすることになる。
 - 再発防止策として、国が定める申告様式による受付と職場内研修を行い、申告受付時に適正な事務処理を徹底することとした。
 - 定例会に補正予算として提案する。信頼を損なう形となり大変申し訳ない。
- 以上、経緯と対応について説明があった。

【教育部】

1. 令和7年度所管事項の概要等について

(1) 学校教育課

- ・児童生徒数：1,622名、普通学級67、特別学級42
- ・学校情報機器整備事業：1人1台端末を更新するため北海道との共同調達を行う
- ・学校空調設備設置工事：名寄南小、風連中央小、風連中学校、智恵文小中学校に設置
- ・学校洋式トイレ改修工事：計画的に進める。今年度は名寄西小学校で改修工事を行う
- ・屋内運動場非構造部材等改修工事：落下防止のため、名寄東小学校で改修工事を行う
- ・NAYOROスタイル部活動改革推進事業：部活動の一部地域移行を見据え拠点校方式を導入し、文化部活動も部活動改革推進協議会で検討を進める

(2) 学校教育課(指導主事)

- ・令和7年度名寄市教育改善プロジェクト委員会
名寄市の学校教育における課題解決に向け、市内全学校が一体となって研究を推進するもの。教育研究の充実に関するグループと、教育指導の充実に関するグループに分かれ取組を進める。
- ・英語教育について
グローバル社会を生き抜く能力の育成に向けALTを増員するほか、英語専科教員による授業など英語教育の推進を図る。
- ・特別支援教育について
必要とする児童生徒に切れ目のない支援体制の整備に努める
- ・いじめの対応
全ての教職員が理解を深め、関係機関と連携のうえ未然防止、早期対応に努め、児童生徒の主体的な取組を推進することでいじめ防止・根絶に努める
- ・不登校の対応
一人一人の困り感に応じたきめ細かな指導・支援を行うため、関係機関との連携しながら、子どもの社会的自立を目指した適切な支援に努める。

(3) 特命課題担当

- ・名寄中学校整備事業

令和 8 年度の完成に向け工事を行っている。

- ・名寄東中学校整備事業

旧名寄産業高等学校光凌キャンパスを活用するための改修工事を行う

- ・高等学校支援事業

名寄高等学校が生徒や保護者から選ばれ、地域からも親しまれる魅力ある学校となるよう支援を行う

(4) 社会教育課・名寄市公民館・名寄市風連公民館

- ・公民館講座の開催

文化センター、ふうれん交流センターを拠点に市民講座を開催する。

- ・高齢者学級運営事業(名寄ピヤシリ大学・風連瑞生大学)

ピヤシリ大学:学生数 63 名/年 20 回の講座、瑞生大学:57 名/年 30 回の講座

- ・名寄市・杉並区こども交流「都会っ子体験交流事業」及び名寄市子ども会育成連合会との連携事業「わくわく！体験交流会」の実施

青少年の人間性や社会性を身に付けるべく様々な体験・交流活動、ボランティア活動を行う。

- ・市民(風連)文化祭

11 月 1 日～3 日の間で各地域の文化祭を行う。

- ・生涯学習フェスティバル 2025

9 月 28 日開催する

- ・EN-RAY ホール等を中心とした芸術鑑賞機会の提供(開館 10 周年記念事業)

市民コミュニティ醸成の場としてより親しまれるよう、音楽や演劇を開催し、エンレイホールでは 10 周年記念事業を開催する。

(5) 智恵文公民館

- ・公民館講座の開催

教養講座、健康・体験実習などの開催

- ・青少年健全育成

夏・冬休み期間など、公民館や智恵文子ども会育成会との共済による事業を実施する。

- ・ちえぶん健康まつり

2 月中旬に開催し、講話や健康相談、趣味の作品展示などを行う

- ・高齢者学級「友朋学級」の運営

年間 20 回行う

(6) 児童センター・青少年センター

- ・児童センター

児童館、放課後児童クラブの運営、民間学童保育所への支援

- ・放課後こども教室

小学生 4～6 年生を対象とした放課後の居場所づくりのための取組

- ・児童クラブへの Wi-Fi 設置

1 人 1 台端末を用いた学習・宿題機会の増加に対応できるよう整備を進める。

- ・青少年センター

放課後の各学校区の定期的な巡視活動や青少年の健全育成に関する啓蒙・啓発運動を推進する。

(7)教育相談センター

- ・教育相談センターの事業概要

様々な悩みや心配事の解決法と一緒に考える教育相談や不登校児童生徒の学習支援、生活支援、校内教育支援センターの運営補助、中学校の相談室の運営などを行い、子どもたちや保護者の思いを大切に、学校との連携を図りながらより良い支援に取り組む。

(8)市立名寄図書館

- ・読書推進活動、移動図書館「やまゆり号」の運行、レファレンス機能の充実、他図書館との連携、学校教育の支援、広報活動を行う。

(9)北国博物館

- ・地域に関する歴史、文化、自然分野の資料収集と調査、研究のほか、蓄積された収蔵資料を活用した普及活動、地域の文化財の保護・伝承に対する事業、小学校社会見学の支援等を行う。

(10)なよろ市立天文台

- ・旬な天体や日時限定の天文現象の観望会を開催するなど天文の普及に努めるほか、プラネタリウムの運営、小学校から高校まで理科授業の支援、太陽観測の継続や新天体の発見などの観測・研究事業を行う。また、北海道大学や国立天文台、石垣島天文台など関係機関と協力した観測・研究を推進する。

(11)学校給食センター

- ・令和 7 年度の給食実施計画

約 200 日、小・中・義務教育学校等で 2,000 食／日を予定

- ・給食費

小学校低学年 287 円(補助込み)

小学校中学年 289 円(同)

小学校高学年 291 円(同)

中学校 338 円(同)

- ・年間献立計画に基づき和食型給食を栄養教諭が立案。地場産品の活用を意識する。ま

- た、アレルギー給食を実施する。
- ・安定供給に向け空調機用蒸気配管等の更新を実施する。

以上、概要を報告する。

報告者 市民福祉常任委員会 副委員長 今村 芳彦

第 3 回 厚生文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 7 年 8 月 20 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、今村芳彦、東千春、高野美枝子、倉澤宏、谷聡				
委員外議員					
欠席委員	佐藤靖				

調査・報告事項

【市立総合病院事務局】

1. 名寄市立病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

名寄市立病院の一般病床を10床削減し290床としたうえ、病床数適正化支援事業により削減1床あたり4,104千円の交付金が見込まれる。定例会提案予定であり質疑は議場で行うこととした。

2. 脳神経外科診療体制について

令和7年3月に脳神経外科医2名が退職したが、4月からは旭川赤十字病院から出張医の派遣を受け診療体制を維持している旨の報告があった。

【名寄市立大学】

1. 令和8年度学生募集・確保について

(1) 令和7年度オープンキャンパスの実施状況について

昨年の反省を活かし、名寄高校学校祭を避けた開催とした。

第1回 6/28 参加者 140 人、保護者参加 126 人

第2回 8/10 参加者 193 人、保護者参加 201 人

第3回 9/27 予定

(2) 高校訪問・進学相談会の状況について

学内で担当教員他で執り行っており、道内の高校はおおむね終了、道外でも71校に訪問した。進学相談会も道外1件を含む57件を終えており、今後も33件に参加予定

(3) 名寄市立大学トークイベント2025 in HTB 本社スタジオの開催について

10/18日に札幌創生スクエアにて進学イベントを実施する旨報告があった。

<質疑>

問 オープンキャンパスは重要である。前年比して工夫した点や変更点はあるのか。

答 保護者に学内の見学時間を取るなどした。

問 多くの人数が参加していた。混乱等はなかったのか。

答 学生とも協力しスムーズな開催だと認識している。

2. 学生の就職活動の状況について

令和8年3月卒業見込み者の就職内定状況は7月末日現在で23.3%であり、発表が遅い場合や資格取得後の就職活動を予定するなど今後上昇するものと報告があった。

また、同内外の団体による就職合同説明会や地元定着化に向けた名寄の仕事ミニジョブカフェなどの取り組みの報告があった。

<質疑>

問 市内を希望する学生はいるのか

答 数名の生徒から情報を得ているほか、就学支援資金に関する支援メニューも説明している。

【健康福祉部】

1. 第3回定例会提案予定の議案について

地域介護・福祉空間整備当施設整備事業費、介護保険特別会計の介護給付費負担金返還に関する提案の旨であり質疑は議場で行うとした。

2. 各課報告事項等

(1) 社会福祉課

① 低所得者給付 令和6年度物価高騰重点支援給付金

R6 住民税非課税世帯 3337 世帯 支給合計 100,110 千円

低所得者子育て世帯加算 129 人 87 世帯 2,580 千円

② 戦没者追悼事業

戦没者追悼式が7月10日に行われ、エンレイホールでの式典ほか平和音楽大行進、協賛行事として銃剣道大会、弓道大会が開催された旨の報告があった。

(2) 保健センター

① 新型コロナワクチン助成事業について

B類疾病の定期予防接種に位置づけられおり、国は令和7年度から助成を無くす方針を決定したことうけ約5割の助成を行う。

<質疑>

問 今後も助成するのか。

答 道内他市町村ではほぼ実施しており続ける意向である。なお助成対象者は低所得者や高齢者に限られているうえ、助成額の3割が交付税措置される。

② 第 35 回なよろ健康まつりについて

8 月 2 日、イオン名寄ショッピングセンターで開催され、11 団体 102 名が参加し、来場者数は延べ 1,758 名であった。

(3) こども未来課

① 名寄市認定こども園あいあい公開保育および保育研究の実施について

○市立保育所では 3 年前から「主体的な保育とは」をテーマに名寄市立大学の先生がたから助言を頂きながら「こどもの主体性を大切にする保育」を目指している。

近隣市町村の関係施設にも案内し、今後は事後アンケートによる集計・分析を行い研究課題として発表する予定。

② 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について

○全ての子育て家庭に対して支援を強化する目的で同事業が令和 8 年 4 月 1 日から本格実施となることをうけ、事業内容を踏まえた課題の洗い出しと今後のスケジュールが示された。

○国の動向を踏まえ、本市でも第 4 回定例会において、確認基準と運営基準に必要な条例案を提出する予定である。

(4) 高齢者支援課

① 令和 7 年度名寄市「長寿を祝う会」および「生きがい作品展」について

長寿を祝う会 9 月 20 日 エンレイホール

生きがい作品展 9 月 17 日～23 日 市民文化センター

【教育部】

1. 学校における工事等の概要について

・学校空調設備設置工事

名寄南小学校、風連中央小学校、風連中学校、智恵文小中学校で工事が進み、年度内に終了予定

・屋内運動場非構造部材等改修工事

名寄東小学校で天井材の除去、バスケットゴールの更新、その他機器等の耐震補強が 9 月 5 日に終わる予定

・名寄中学校改築工事(解体設計委託)

年度末までに解体設計終了予定

・名寄東中学校改修工事(工事監理業務委託)

年度末まで改修工事における工事監理

・学校給食センター空調機用蒸気配管改修工事

給食提供の影響がないよう長期休業期間に実施し 2 月末までに終了予定

2. 部活動の地域展開に向けた取組について

・名寄市部活動改革推進協議会

令和7年7月2日に第1回会合があり、18名の委員で構成。文化芸術部会、運動部会それぞれ所属し、部会毎に裁量権を持つ。

これとは別にスポーツ団体。部活動顧問全体会議を組織し、今後の地域展開のあり方やスケジュール等を確認する。

・運動部活動への拠点校方式の導入

人数の多い活動では複数の学校が拠点校となっている旨報告があった。

・部活動間バス移動モデル事業

長期休業期間中の運行を土日に準じることとし、持続可能なあり方について検証する旨の報告があった。

<質疑>

問 これまで地域移行とされていたが、地域展開とは何か。

答 スポーツ庁と文化庁の有識者会議において、地域移行では「地域が行う」というイメージにとられるが、地域で生徒の活動を支えていこうという趣旨で変わったが、活動自体が変化するものではない。

問 人数が多いと地域展開も難しくなるのではないか。合意形成に向けて難航している状況はあるのか。また、受入が出来ない場合は土日の活動を行わない認識で良いのか。

答 活動場所や指導者の確保が課題であり、今後も競技団体と対話を重ね解消できるよう進めていきたい。受入が出来なくならないよう、話し合いを進めていく。

問 他の自治体では地域展開に向けた協議内容や議論を公開しているケースがある。本市も開示しないのか。

答 名寄市HPで公開する予定である。

3. 令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力が学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることと学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善を図ることを目的として調査を行っている。

・小学生 国語 67(66.8) 算数 55(58) 理科 58(57.1) (カッコ内は全国)

・中学生 国語 51(54.3) 数学 44(48.3) 理科 47(50.3) (カッコ内は全国)

上記結果から、課題と成果を分析している。

<質疑>

問 今回の調査をうけ各学校での分析と授業改善を行うのか、教育改善プロジェクト委員会として全小中学校一体となって考えるべきなのか。考え方は。

答 基本的には各学校で結果を分析し、授業改善を行う。教育改善プロジェクトも学習に関わり、各学校の取り組みを共有しながら事例を共有し進める。

問 中学校の結果から学習意欲の低下が読み取れるが指導主事としてどのように受け止めているのか。また具体的な指導はどのように行うのか。

答 知識および技能と思考力判断力表現力が少し落ちている。こどもたちが授業で考え判断し表現することを伝えていきたい。また国語は伸びており、主体的対話的で深い学びの実現に向けた教育改善が進められた結果と捉えている。

問 資料から、家庭での学習時間の短さが大きな要因になっているように見えるがどのように捉えているのか、また改善は。

答 因果関係は現在分析中であるが、学習時間が少ないことは影響しているところはあると思う。今後はAIドリルを活用した家庭学習の取り組みなど先生方の中でも効果的な手法を研究している。

4. 令和7年度名寄高校生とおよび保護者アンケート調査結果の概要について

・現在の高等学校支援事業について今後の支援等の検討に係る参考とするため、生徒と保護者を対象に行った。

・グーグルフォームを活用し、生徒 389 人中 254 人の回答(65. 3%)、保護者 240 人から回答があった。

・生徒

・志望理由 (多い順)

通学距離が近い 52%

学校が楽しそう(学校祭等)51. 2%

校風やイメージが良い 29. 5%

自分の学力に合う 26. 4%

このほか部活動 24%、知り合いが通っていた(いる)18. 9%、進学に有利 15%、となっている。

・資格取得に有利であるとの選択肢は少なく、資格取得支援事業の周知が不足している者と考えている。

・高校を選時は家族や学校の先生からアドバイスを多く、中学3年生でほとんどの生徒が進学先を決定している。

・出身地は名寄市内が3分の2を占め、8割が一般入試で入学している。

・保護者

- ・入学先は子どもが選ぶ 92. 5%
- ・高校に関する情報源は 高校説明会、パンフレット、HPを参考にしている。
- ・学習教材支援事業補助金は 42. 9%、生徒資格取得費補助金は 25%、アオハル応援事業補助金は 18. 3%の保護者が知っていた。そのうちほとんどが高校説明会やパンフレットで知った。
- ・今後入学者増加に向けて効果的と考えられる支援策は自由記述であるが、通学関係 40 件、経済的支援補助金など 26 件、給食・学食関係 21 件、その他となっている。

<質疑>

問 名寄高校を選択しなかった市内中学生のアンケートも重要ではないのか。

答 本来であれば望ましいが、今後中学生へのアンケートも検討したい。

問 以前の一般質問で学校給食の提供が難しいとの答弁があったが、アンケート結果からニーズがあるのではないかと。具体的に進める可能性はあるのか。

答 給食センターの施設の問題もあり、可能性はゼロではないが低い。

問 以前の一般質問で施策の充実に取り組むとあったが、今回の結果を踏まえ何か考えはあるのか。

答 アンケートから、子どもが学校を選んでいる実態が明らかになったことから、子どもにPRすることが志望率を上げることとなると感じており、アンケート結果を活用しながら効果的な支援策を検討したい。

5. 学校施設環境改善交付金について

報道の通り名寄中学校改築工事に係る交付金が採択されていない状況だが、継続事業のうち今年度中の補正予算等で追加財政措置があった場合は優先的に採択されると聞いている。

道教委を通じ国に要望を行っているほか、市長も上京し関係機関と連名で要望書を提出している旨報告があった。

6. 杉並区・名寄市子ども交流事業および市民盆踊り大会について

・杉並区・名寄市子ども交流事業

7月から8月にかけて開催。大きな混乱もなく楽しんで帰ってきており、現在アンケートを回収するほか写真展に向けて作業中である旨報告があった。

・市民盆踊り大会

水はけの問題や実行委員会委員の交代等により、南広場からエンレイホール西側駐車場で開催となった。新聞報道で960名の参加があり、よかった。旨の報告があった。

7. 放課後児童クラブへのWi-Fi設置について

学習機会の増加に向け、一人一台端末の利用が可能なように整備を進めており、夏休みから供用が開始された。

8. きたすばる「星と音楽の集い 2025」(星まつり)の中止について

- ・ヒグマの出没が相次いだことをうけ中止とした。
- ・なお展示予定物は北国博物館2階で開催した。

【市民部】

1. 令和7年度名寄市国民健康保険および後期高齢者医療「資格確認書・資格情報のお知らせ」の更新について

・従来の健康保険証が新たに発行されなくなったことをうけ、被保険者に対し新しく資格確認書または資格情報のお知らせを送付した。

○国民健康保険

- ・マイナ保険証を持つ方:資格情報のお知らせ 2,602 件
- ・マイナカード取得してない、または保険証として登録していない方:資格確認書 1,358 件

○後期高齢者医療

- ・暫定運用の延長により全員:資格認定書 5,125 件

2. (仮称)名寄地区一般廃棄物中間処理施設建設工事請負契約の変更について

令和7年8月1日開催の名寄地区衛生施設事務組合議会臨時会において変更が議決された。

・(仮称)名寄地区一般廃棄物中間処理施設建設工事

変更前 71 億 2,690 万円

変更後 75 億 4,769 万 4000 円 (4 億 2,079 万 4000 円増)

相手方 東京都中央区明石町 8 番 1 号 三機工業株式会社

3. 令和9年4月から変わるゴミの処理・区別区分などに関する説明会の開催結果等について

名寄地区衛生施設事務組合で建設している新しいゴミ処理施設の稼働にともない、ゴミ処理や分別区分などが大きく変わることから説明会を開催した。

・市民向け説明会 7 回 142 人

・事業者向け説明会 1 会場 2 回 23 事業所

・収集運搬業者向け説明会 1 会場 1 回 55 事業所 80 人

・今後、収集業者との協議を重ね、来年3月までに構成4市町の意見集約と方針決定、条例制定を目指し、以後市民説明会の開催とガイドブック作成を行う。

4. 令和6年度市税収納状況と道内都市における名寄市の収納率

・令和6年市税収納状況 現年課税分 30 億 2,095 万 5000 円 と1億円余り増加

・滞納繰越金は収納率が昨年度比7.45ポイント増の1032万9000円

・道内各都市に比較して収納状況は全道平均以上、市税総合で道内35市中4番目

5. 名寄市税条例施行規則の一部改正について

・寄付金税額控除の対象となる法人の解散に伴い、規則にある対象法人を削除するため名寄市税条例施行規則第 17 条第 3 号を改正したい旨報告があった。

以上、概要を報告する。

報告者 市民福祉常任委員会 副委員長 今村 芳彦

第 4 回 厚生文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 7 年 9 月 19 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、今村芳彦、東千春、高野美枝子、倉澤宏、谷聡				
委員外議員					
欠席委員	佐藤靖				

調査・報告事項

【健康福祉部】

1. 風連地区デイサービスセンターについて

- ・現在風連地区には「名寄市風連在宅老人デイサービスセンター」と「フロンティアハウスふうれんデイサービスセンター」があり、どちらも名寄市社会福祉事業団が運営している。
- ・現在の利用状況や今般の名寄市行財政改革推進取り組み方針に掲げる「選択と集中の実質化」を踏まえ、両者の統合に向けて検討を開始する。

- ・背景として 65 歳以上人口の減少とデイサービス利用者数の減による稼働率の減少がある。
- ・また、サービスの維持に関わるケアマネージャーや訪問看護師など運営に必要な従事者の減少も顕在化
- ・次年度に向けサービスの統合を検討し、詳細は事業団の理事会で諮り決定していく。

<質疑>

問 統合先として現在改装中のしらかばハイツを考えているのか

答 一長一短がある。定員の検討も含め、今後検討したい。

2. その他

- ・特になし

<名寄市の高齢者施策>

- ・委員会を休憩し、担当職員の出席を求め名寄市の高齢者施策について勉強会を行った。

以上、概要を報告する。

報告者 市民福祉常任委員会 副委員長 今村 芳彦

第 5 回 厚生文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 7 年 10 月 24 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、今村芳彦、東千春、高野美枝子、倉澤宏				
委員外議員					
欠席委員	佐藤靖、谷聡				

報告事項

【行政視察報告の共有ならび意見交換】

1. その他委員会所管事項

10 月 7～9 日に行った行政視察報告を委員間で共有し、先進地の取組から本市の課題や対策について協議を行った。

【その他】

委員会としての意見交換会について打ち合わせの後、終了した。

報告者 厚生文教常任委員会 副委員長 今村 芳彦

第6回厚生文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和7年11月12日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋 伸典・東 千春・高野 美枝子・倉澤 宏・佐藤 靖・谷 聡				
委員外議員					
欠席委員	今村 芳彦				

審査及び報告事項

○名寄市立大学

1 令和8年度入学者選抜試験の実施について

- ・総合型選抜（社会福祉学科） 10月13日
- ・総合型選抜（社会保育学科）、学校推薦型選抜、社会人選抜、編入試験 11月20日
- ・一般選抜（前期日程）試験 2月25日
- ・一般選抜（後期日程）試験 3月12日

2 令和8年度大学入学共通テストの実施について

日程 令和8年1月17日（土）・18日（日）
会場 名寄市立大学

3 令和8年度学生募集・確保について

- ・オープンキャンパスの実施状況について
第3回：9月27日（土）
参加者数：252人、高校生140人（うち道外4人）、保護者参加数：112人
- ・トークイベント2025 in HTB本社スタジオについて
10月18日（土）開催 参加者 10時 21人、14時 16人

4 令和7年度卒業予定者の就職等の状況について

- ・就職内定状況 令和7年11月12日現在

栄養学科 48.7%	看護学科 83.7%	社会福祉学科 66.0%
社会保育 35.7%	合計 186人 60%	名寄市内就職者 9人
- ・第2回名寄のしごとミニジョブカフェについて
 開催日時：11月12日（水）16：00～18：30
 開催場所：名寄市立大学 1号館2階121教室
 参加団体：11団体

○教 育 部

- 1 名寄東中学校整備事業について
 - ・旧産業高校（実習棟）解体の延期と今後について
- 2 名寄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について（定例会議案）
- 3 名寄市博物館条例の一部改正について（定例会議案）
- 4 和解について（定例会議案）
- 5 名寄市内小中学校の校舎等耐震化状況について（令和7年11月1日現在）
耐震化率 79.2% 24校中残り 5校
吊り天井落下防止対策 未対策校 中名寄小学校（本年度設計）・西小学校

○名寄市立総合病院

- 1 市立総合病院上半期の収支について
医療収益 40億4,722万円、医療費用が物価高騰・ハイブリッド手術室の減価償却などで49億885万円となり、当期純利益が5億8,721万円の赤字。
- 2 病院機能評価の受審について
地域に根差し、安全・安心、信頼と納得が得られる質の高い医療サービスを提供するため、公益財団法人日本医療機能評価機構の6回目の認定審査を受けた。
日本医療機能評価機構より審査結果の報告待ち。
- 3 名寄市立総合病院 公式Instagramの開始
職員の笑顔や日々の取組を通じて魅力を発信する。
- 4 第1回「病院まつり」の開催について
家族の皆様へ感謝の気持ちを込めて、病院の魅力と役割を楽しく知っていただく場として、11月9日に「病院まつり」を開催し、病院関係者の絆を深める行事となった。
- 5 令和7年度医師臨床研修マッチング結果について
採用試験受験者数 9名、研修医定員 4名、マッチング結果 4名がフルマッチ

○市 民 部

- 1 名寄市印鑑条例の一部改正について（定例会議案）
 - ・申請手続きのオンライン化

2 令和8年度予算措置科目の組替え

- ・男女参画の推進は人権擁護対策の一環として業務を進めており、人権擁護事業の予算執行の効率化と事業実施の円滑化を目的とするため。

3 協働のまちづくりセミナーの開催について

日時 11月17日(月)18時～ 会場 駅前交流プラザよろーな

4 (仮称)名寄地区一般廃棄物中間処理施設の名称決定について

名称 「エコスピカ」

5 令和7年度名寄地区衛生施設事務組合負担金の増額(定例会議案)

処理施設電気料の確定減額、処理建設事業の資材等負担金の増額。

○健康福祉部

1 第4回定例会提案予定議案について

- ・名寄市総合福祉センター条例の一部改正について
- ・名寄市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・名寄市在宅老人デイサービスセンター条例の一部改正について

2 報告事項

- ・定額減税補填給付金(不足額給付)について
支給者 1,888人 5,870万円
- ・名寄市冬の暖房経費支援事業について(歳末たすけあい運動義援金対象者)
11月の灯油単価を基準に、100円以上 支給額15,000円、100円未満 10,000円
- ・名寄市みんなを結ぶ手話条例施行10周年記念映画上映会について
- ・新型コロナワクチン助成事業について
- ・令和7年度名寄市「長寿を祝う会」及び「生きがい作品展」について
- ・敬老事業について
- ・認知症高齢者等SOSネットワーク捜査模擬訓練について
- ・令和7年度介護予防普及啓発事業介護予防講演会について
- ・風連在宅老人デイサービスセンター(以下、風連デイ)とデイサービスセンターフロンティアハウスふうれん(以下、フロンティアデイ)の統合について
- ・短期入所(ショートステイ)事業所の休止について
- ・令和7年度理解促進研修・啓発事業 市民向け講演会について